

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 開会宣告
  - ・ 議題の確認
- 

1 閉会中継続調査事件

- (1) 重度障がい者等の就労に係る福祉施策について

○委員長（小林 芳幸）

- ・ 議題宣言
- ・ 本件については、11月8日から10日の日程で宇都宮市および台東区に対し行政調査を行った。各都市の取組は非常に参考となり、大変有意義な調査であったと考えている。
- ・ なお、本件に係る行政調査報告書については後日配付させていただくが、取り急ぎ各委員には調査内容の概要を取りまとめた資料を配付させていただいたところである。
- ・ 本日は今回の行政調査を踏まえ、調査の目的とした重度障がい者等の就労機会の拡大を図り、社会参加を促進するため福祉的な側面から就労支援を実施する取組について各委員から御意見などをお伺いしたいと考えているがよろしいか。（異議なし）
- ・ では、就労支援制度の必要性や課題などを重点に御発言いただきたい。

○金澤 浩幸委員

- ・ 宇都宮と台東区で話を聞いてきたが、まずは制度を必要とされている方が全体の重度の障がい者の人数に比べたら少ないが、ある程度はいるというのが確認できた。
- ・ 国の方で半分と北海道で4分の1の費用負担もあり、ニーズがあるのであれば函館市としてこの就労支援特別事業を実施し、あとは重度の障がい者の方のニーズに合わせて、必要な方たちがいるようであれば、この制度を使ってやっていくのがいいのかなと思う。
- ・ 市職員の負担という質問もありましたが、それほど負担はかからないということが調査で確認できたので、制度としては実施するべきなのかなと思う。

○松宮 健治委員

- ・ 台東区と宇都宮市を調査して、課題もあるということが分かった。ただ、それ以上に困っている方、必要としている方がいるので、函館市としてそういった一人一人を大切にするという視点から、ぜひこの制度は導入するべきだと思っている。
- ・ 制度は不要という声も出そうな気もするが、函館市は周辺から見ると人口が多い地域であり、1人でも2人でも利用者がいるのであれば、私は導入する意義があると思う。
- ・ この函館圏ということで考えると、函館が先行してやっていくことで周辺市町にもかなり影響を与えていこうと思っているので、函館市においてもすぐ取り組むべきだと思う。

○金澤 浩幸委員

- ・ 付け加えて話をすると民生常任委員会として、この制度を市に対して導入を求めるような報告書がいいと思う。

○富山 悦子委員

- ・ 就労支援することで、働く意欲がある方の雇用がどんどん進んでいけば良い。ただ支援を受けるための書類を毎回出すことについて、もう少し簡素化して利用しやすい体制を函館市として検討していただきたい。ぜひ制度を導入してほしいと思う。

○川崎 啓太委員

- ・ ICT化が進み全国の人口減少における人手不足、働き方の多様性、障がい者雇用というのも函館でも十分にニーズがあると思うので、制度を導入して推進していければいいと思う。

○道畑 克雄委員

- ・ 今回の調査で利用者は自営の方だけだった。雇用されている方にも当然ニーズはあると思うが行政側の体制はもちろん、雇用主の理解を求めることも一緒にやっていく必要がある。
- ・ 制度は導入すべきと思うが、良いものにするためには周知なども必要だと思う。

○浜野 幸子委員

- ・ 制度自体は決して否定するものではないが、なかなか提案してすぐ行動に移せるかということについてはどの自治体でも難しいものがあり、苦勞して実施しても利用者が少ないのが現状だが1人でも2人でも実施している自治体には敬意を表したい。

○見付 宗弥委員

- ・ 感想としては利用者が思ったよりも少ないということ。
- ・ 利用者が少ないというのは周知不足だと思うが、函館市で取り組む場合でも障がい者の団体はもちろん、企業などと連携しながら、利用したいと思う方に情報が行き渡るような仕組みを整える必要がある。
- ・ その結果利用者が少ないかもしれないが、それでも制度は必要だと思う。

○中山 治委員

- ・ 今回、市議会に提出された要望書にもあったが、障がい福祉サービスでは仕事などの経済活動ではヘルパー等の利用ができず、それを解消するために令和2年10月から国で就労支援特別事業を実施した。
- ・ 就労支援特別事業は、市町村を対象とした補助事業だが、市町村の任意事業であり市が実施しなければ補助金は使えない。
- ・ 補助事業自体は障がい者の福祉の増進が目的であって、働く意欲がある方の社会参加を促進してい

くというものだと思う。

- ・ 今回2つの都市に行ったが、利用者の声で「就労の機会が増えた」「業務の幅が広がった」「自分の都合で業務ができるようになった」ということも聞き、本市でも事業を活用し働く意欲がある重度障がい者等がより快適で、より安全に就労することができる環境作りを目指すことが重要だと思う。
- ・ そのようなことから利用者が少数だとしても制度としては必要だと思うが、関係各所との連携や制度の周知・広報、そして申請手続きについて課題があるので、その辺の工夫は必要になってくるのかなと思う。

#### ○委員長（小林 芳幸）

- ・ 一通りお聞きしたが、他の委員の発言を踏まえてさらに何かご発言はあるか。（なし）
- ・ 今後の調査の進め方について、これまでの調査や本日いただいた御意見を踏まえ、調査結果の案を正副で作成させていただき、協議を行っていきたいと考えているが、よろしいか。（異議なし）
- ・ その他、本件について各委員から何か御発言はあるか。（なし）
- ・ 閉会中に委員会が行った調査については次の定例会で報告することになるが、委員長の報告文については委員長に一任いただいてよろしいか。（異議なし）
- ・ 議題終結宣言

---

#### 2 その他

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前10時14分散会